別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	（法人にあっては名称） 学校法人 就実学園	住所	（法人にあっては主たる事業所の所在地） 〒 703-8516 岡山市中区西川原一丁目6番1号
本票作成	部署名：管財部　管財課		
主たる業種	分類コード 81	業種名：学校教育	
事業の概要	大学（大学院含む）、短期大学、高校、中学校、小学校及びこども園（幼稚園・保育所）を保有し、学生、生徒及び児童合わせて5,300人、教職員数は700人である。		

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	西川原校地（大学、短大、小学校、こども園）	岡山市中区西川原一丁目6番1号
	②	弓之町校地（中学、高校）	岡山市北区弓之町14番23号

特定事業者の該当要件	☑①燃料等原油換算1,500kℓ以上　□②ﾊﾞｽ・ﾄﾗｯｸ100台、ﾀｸｼｰ250台以上　□③CO_2換算3,000t以上 （●工場等の数　2　所　●車両台数（②該当の場合）　台）

計画期間	令和　6　年度　～　令和　7　年度　（　2　箇年度）								
削減目標	いずれかを選択	□総排出量基準	目標削減率	目標区分	20%以上	20～15%	15～10%	10～5%	5%未満
		☑原単位基準	2.0　%						○

温室効果ガス排出量	基準年度（令和　5　年度）	目標年度（令和　7　年度）
	3,418　t CO_2	3,349　t CO_2

基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	基準年度（令和　5　年度）の排出量
	①	西川原校地（大学、短大、小学校、こども園）	2,796　t CO_2
	②	弓之町校地（中学、高校）	622　t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2
			t CO_2

※　「計画期間」欄には，５箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

（原単位基準の削減目標を選択した場合に記入）	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量 基準年度	原単位当たり排出量 目標年度
	延床面積	36.975 t CO_2／（千m2）	36.229 t CO_2／（千m2）

（該当事業者のみ記入）

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値（令和　5　年度）	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

本学園では、設備更新や運用見直し等による省エネを図るとともに、改正省エネ法に沿った概ね年1%以上の温室効果ガスの排出削減に取り組む。
また時代の要請のある非化石電気（非化石割合の多い電力メニュー採用、非化石証書活用など）の採用について検討を進める。

【目標削減率達成のための推進体制】

平成21年度に学内に省エネルギー対策推進本部を設置し推進している。大学・短期大学及び高校・中学にそれぞれ省エネルギー対策推進委員会を置き、エネルギーの管理、設備の改廃計画、啓発活動等を行っている。更なる管理推進体制の強化に取り組む。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
1.西川原校地	1.大学本館：校舎の建替え（空調更新、配電設備更新含む） 2.大学：照明のLED化、エアコン更新(GHPエアコン採用含む) 3.こども園：地中熱ヒートポンプ及びOMソーラー設備の設置
2.弓之町校地	1.1,2号館：校舎の建替え（エアコン更新集中化含む） 2.1,2号館：GHPエアコン一部採用、、照明のLED化、デマンドモニター設置

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
1.学園全体	1.エネルギー管理推進の強化と実行 2.人材育成のためのエネルギー管理員養成 3.エアコンや照明器具の取替えに際してはトップランナー機器や高効率タイプ（Hf、LED等）を採用 4.非化石電気採用の検討・実施（非化石割合の多い電力メニュー採用、非化石証書活用など）

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	有	平成22年度から操山西部学校林（102,208.27㎡）において、岡山県・岡山市の助成を受けながら、森林保護・保全を生徒と共に実施している。具体的には、竹林の整備、アカマツ（桃太郎松）の整備に取り組んでいる。
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

・クールビズ・ウォームビズ運動に取り組んでいる。 ・岡山県の実施するライトダウンキャンペーンに参加。